

石狩川下流域におけるXバンドMPレーダによる降水観測情報の 利用を想定した豪雨河川災害予測および避難行動の検討

山田 朋人¹・阿久津 博²・内田 賢悦³・谷口 綾子⁴・木村 一郎⁵
Tomohito Yamada, Hiroshi Akutu, Kenetsu Uchida, Ayako Taniguchi, Ichiro Kimura

¹北海道大学大学院 工学研究院 准教授

²北海道大学大学院 工学院

³北海道大学大学院 工学研究院 准教授

⁴筑波大学大学院 システム情報工学研究科 准教授

⁵北海道大学大学院 工学研究院 准教授

要 旨

本研究の目的は、現在北海道開発局で設置準備が進められているXバンドマルチパラメトリックレーダ（XバンドMPレーダ；以降X-Rain）による降水情報の活用を想定した札幌市を含む石狩川下流域における豪雨河川災害の予測手法の開発及び避難行動のあり方を提案することである。

本研究で得られる成果によって、現在使用されているCバンドレーダでは捉えることのできない高い時空間スケールの降水情報に基づく被害リスクの軽減が期待されるという意義を有する。

以下に各担当者と研究テーマを記載する。

- ・XバンドMPレーダ（X Rain）と現地観測データの降水検知時間差を利用した雨滴の中央粒径の推定法 山田 朋人 阿久津 博
- ・降雨による洪水・土砂災害発生時の一時避難所の最適割合問題に関する研究
内田 賢悦 谷口 綾子
- ・高解像度地理情報を反映させた市街地洪水シミュレーションモデル
木村 一郎